篠原　一世

①政友みらい
②下羽田町１０３１−３
③（22）６０１７
④今世界は保護主義、戦略的覇権主義を主張する大国に翻弄され、国際的環境が危惧されております。日本においては少子高齢化が進展し、大都市と地方の格差解消に苦慮しております。
　佐野市も第２次総合計画・前期基本計画を策定し、市民の安全・安心を最重要課題とし、更に県南の中核市を目途に限られた財源確保と財政運営を全市内配分とする中、選択と集中による持続可能な市政運営で、未来に希望の持てる佐野市づくりを頑張ります。

春山　敏明

①新風
②赤坂町６５−４
③（24）０３７４
④去り行く平成の時代は、景気低迷に憂い、更に少子高齢化による労働力人口減少による財政への影響が不安視されつつあります。本市は、定住促進に軸足を置き、雇用の場、子育て等の職住及び教育環境の充実を目指しています。議会は、全てを公開、報告会を催し皆様と次代に向け研鑽に努めています。気候変動による災害の多発化やロボット技術等の進化は、今後、私達に大きく影響するものと思われます。新元号の次代、確固たる佐野市を築きます。

飯田　昌弘

①蒼生会
②堀米町８１−７
③（22）８５２３
④急速に進む人口減少、少子高齢社会。全世界で起きた天変地異。日本も猛暑、豪雨、多くの台風、地震の発生で安全に対する不安意識が高まるなど、大きく変わる社会環境に対応し、次世代に誇りをもって繋いでいく社会をつくるため、若い世代の希望を叶える結婚・出産・子育て環境の創造。未来を拓く地域教育の再生。産業振興による新たな雇用の創出。人材の定着・還流・移住の推進を図り安心して暮らせるよう全力投球致します。